

病害虫防除技術情報第 11 号

平成 24 年 7 月 17 日
三重県病害虫防除所

穂いもち防除は穂ばらみ期から穂揃い期に散布しましょう

1. 対象作物： イネ

2. 対象病害虫名： いもち病（穂いもち）

3. 発生状況

1) 一般圃場では、葉いもちの発生量は微～やや多（概して平年並）であり、一部の地域では、ずり込み症状を呈した圃場が確認されています。

2) 巡回調査圃場（7月第1週）では、感染力の強い進展型の病斑が多く確認されました。発病株における上位葉への病斑進展率は1.6%（5年平均1.6%）と平年並であり、平年と同様に穂いもちの発生の危険性があります。

3) いもち病発生予測支援システム（プラスタム）によると、7月1日に感染好適条件が県内の広い範囲で出現しており、以降も各地域で出現が続いたため、病斑が急増する可能性があります。

4. 防除上の注意事項

1) 葉いもちの発生状況を再度確認しましょう。発生圃場では、出穂前に防除を徹底し、止葉への進展を防ぎましょう。

2) 穂いもち防除は予防散布が原則です。穂ばらみ期から穂揃い期に薬剤散布しましょう。周辺圃場の発生状況にも注意してください。

3) 出穂後も雨天が続く場合は、追加防除を行いましょう。出穂期から約10日間は、穂いもちの感染の危険性が高い時期です。

4) 薬剤散布を行う際は、農薬使用基準（特に使用時期や使用回数）に注意しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。